頚椎椎弓形成術 入院診療計画書

傷病名① ／ 傷病名② ／ 症状 □ 事前検査による異常所見 □ 患部の自覚症状（しびれ　神経障害　巧緻運動障害　）

予定入院期間：　　入院病棟：　　担当医

患者さんのお名前 ／ 副担当医 ／ 看護師 ／ 薬剤師 ／ 管理栄養士 ／ 退院調整担当 ／ リハビリ

日付	入院日 ／	手術前日 ／	手術日（術前） ／	（術後） ／	術後１日目 ／	2日目 ／	3日目 ／	4日目 ／	5～9日目 ／	10日目 ／	11～15日目 ／
患者さんの目標	不安なく手術を受ける事ができる			術後合併症をおこすことなく経過する					退院に向けてリハビリを行うことができる		
治療処置注射	薬については医師の指示に従って下さい	アレルギーの確認を行ないます	朝より点滴をします 後頭部を除毛します	抗生剤の注射をします 心電図モニターを行い観察していきます	傷の消毒 →	→	→	→	→	抜糸をします	
検査	指示により検査があります	麻酔医の診察があります			採血があります				術後7日目に血液検査、レントゲンがあります	術後14日目に血液検査、レントゲンがあります ＣＴ撮影・ＭＲＩ撮影（必要時）	
食事	普通食（必要制限食）	21時以降絶食。水分制限があります。 →	→	→	朝より食事がでます 必要時、食べやすい形へ変更できます （看護師が介助します）						
清潔	シャワーできます		口の中の清潔が保たれるよう観察します →	→	身体を拭いていきます →	→	傷の状態をみて許可があれば入浴用カラー装着し、シャワーができます （抜糸後は、状態に合わせて入浴用カラーを外してシャワーをします） →	→	→	→	→
排泄				手術後、尿の管が入ります →	→	→	尿の管を取りトイレへ行けます				
活動安静度	制限はありません			ベッド上安静（指示があるまで首を動かさないよう仰向けの状態）看護師が体の向きを換えます。	痛みに応じてギャジアップをしたり、自分で横に向いたりできます	装具を付けて座位、車椅子または歩行器で歩行開始になります					
説明指導	手術と装具についての説明をします	手術室看護師の訪問があります。		手術後の説明をします	ベッド上リハビリの指導をします （手足の運動開始）		移動方法の指導をします 装具の適合性を指導をします 座位で装具着脱（看護師介助）				

栄養 褥瘡 自立度

- 特別な栄養管理の必要性　□あり　□なし
- 褥瘡の有無　現在　□あり　□なし
  　過去　□あり　□なし
- 日常生活自立度　□自立　□準寝たきり　□寝たきり

●医療費が高額になった場合、「限度額適用認定証」をご利用いただくことで、窓口での支払負担が既定の金額で済みます。所得により限度額は異なりますので、ご加入の保険者で手続きされる際にご確認ください。
※認定証は申請した月より適応となりますので手続きはお早目にお願いいたします。なお、同意をいただければオンライン資格確認にて限度額の即日確認が可能です。
●福祉医療を受けておられる方は健康保険分の診療費はありません。
●食事代は個人負担となります。（所得により負担額は異なります）

上記のとおり説明を受けました　　年　　月　　日

患者本人署名 ／ 親族または代理人署名 ／ 続柄

@PATIENTIDC032@PATIENTSELECTEDSECTIONCODE@SYSAT@SSTME728001 @USERID@PATIENTWARCODE

黒部市民病院
令和5年7月 改訂